

梅ヶ島温泉郷
国民保養温泉地計画書

令和5年3月
環境省

(目次)

- 1．温泉地の概要
- 2．計画の基本方針
- 3．自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策
- 4．医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方法等
- 5．温泉資源の保護に関する取組方針
- 6．温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策
- 7．温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策
- 8．高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりに関する計画
- 9．災害防止対策に係る計画及び措置

添付

- 1．国民保養温泉地位置図
- 2．国民保養温泉地区域図

1. 温泉地の概要

梅ヶ島温泉郷は、「梅ヶ島温泉」、「梅ヶ島新田温泉」及び「コンヤ温泉」の総称で、日本屈指の清流を誇る一級河川安倍川の最上流域に広がる旧安倍郡梅ヶ島村に該当する区域（約92.82k㎡）を言い、静岡市域の約8割を占める中山間地域「オクシズ」の主要な観光地である。

3つの温泉は、梅ヶ島温泉とコンヤ温泉が単純硫黄温泉、新田温泉がナトリウム - 炭酸水素塩温泉と泉質に違いはあるものの、アルカリ

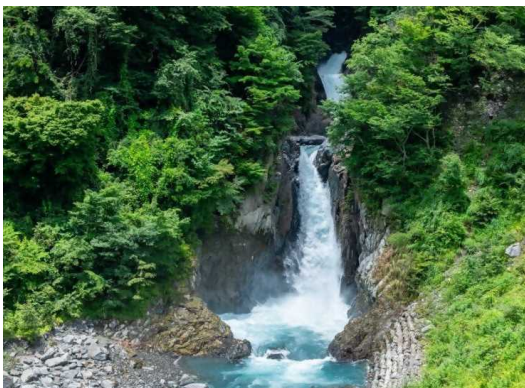
性でややぬめりのある肌触りは共通している。いずれも療養効果が高く、神経痛や皮膚炎、関節痛、婦人病などへの効能があり、今でこそ減少傾向にあるものの多くの湯治客が訪れていた記録が残る。

特に、梅ヶ島温泉の湯治場としての歴史は古く、戦国時代から開湯していたとの記録があり、梅ヶ島金山を巡る今川氏と武田氏の合戦が終了して梅ヶ島温泉周辺を武田氏が支配してからは、「信玄公の隠し湯」として、合戦で傷ついた侍の療養所であったともいわれている。

山梨県との県境に位置するこの地域は、2,000m級の山々が連なる稜線に囲まれ、「奥大井県立自然公園」に指定されている。豊かな自然環境は特徴ある美しい景観を作り出しており、日本三大崩れの一つにも数えられるダイナミックで荒々しい山地崩壊「大谷（おおや）崩れ」や、主要観光スポット安倍の大滝、赤水の滝を含む「梅ヶ島七滝」などの変化に富んだ渓谷美はその代表格である。さらに、11月上旬から中旬にかけては、ブナやミズナラ、カエデなどの紅葉がその魅力を一層引き立て、これらは来訪者を楽しませる主要観光資源となっている。

地域内の特産品としては、梅ヶ島地区の環境を活かして生産される、お茶、わさび、原木しいたけなどの農産物、山女魚などの水産物が挙げられ、地域内の宿泊施設や飲食施設で提供されている。また、近年では、それら農林水産物を活用したチャイシロップやわさびパスタなどの新商品、新メニューの開発も進んでいる。

かつては交通アクセスが課題であったが、県道29号梅ヶ島温泉昭和線が整備され、



【主要観光スポット 赤水の滝】

現在まで改良が進められたことにより、新幹線停車駅であるJR静岡駅から梅ヶ島温泉郷の玄関口であるコンヤ温泉まで、車で約1時間での往来が可能となった。新東名高速道路が開通してからは、静岡市市街地北部の葵区下に新静岡インターチェンジが開設されたことで交通アクセスはさらに向上し、高速道路のインターチェンジから車で40分程度と、交通至便の温泉郷となっている。



【紅葉シーズンの梅ヶ島温泉】

2. 計画の基本方針

梅ヶ島温泉郷の温泉は、療養効果が高い泉質が特徴であり、開湯した戦国時代から現在に至るまで、湯治場として栄えてきた記録が残る。また、豊かな自然とそれが作り出す美しい景観、わさび、駿河シャモなどのこの地ならではの食材、テニスコートやキャンプ場といったレクリエーション施設など、温泉と複合的に楽しむことで心身のリフレッシュに繋がるコンテンツを豊富に有している。

梅ヶ島温泉郷では、豊かな自然環境や美しい景観を保全するとともに、豊富に有する地域資源を活用することで、「新・湯治」(1)のスタイルに合致した過ごし方を提供できる、短期から中期の滞在型の温泉郷としていくことを目指す。そのため、以下の取組を柱とし、温泉地づくりに努めるものとする。

温泉資源保護や衛生環境維持のため、温泉施設及び設備の適切な維持管理を行う。

滞在時の満足度向上に向け、梅ヶ島温泉郷が有する豊富な地域資源を活用した事業及び入浴施設やレクリエーション施設等の魅力を高める取組を推進する。

医療機関や温泉入浴指導員(2)等との連携により、来訪者に対する温泉の効能及び入浴方法に関する指導や、健康増進プログラムを実施する。

観光事業者、農林水産事業者などの連携により、来訪者の健康増進を目的とした「温泉」、「運動」、「食」が三位一体となったヘルスツーリズム事業を推進する。

ワーケーター(3)や湯治客など、温泉地への一定期間の滞在が見込まれる層の誘客を積極的に推進する。

1 新・湯治

平成 29 年 7 月の「自然等の地域資源を生かした温泉地の活性化に関する有識者会議」で提言された、現代のライフスタイルに合った温泉地の過ごし方の提案で、温泉入浴に加えて、周辺の自然、歴史、文化、食など様々な地域資源とともに温泉地を総合的に楽しむことにより、心身のリフレッシュを図る滞在スタイルをいう。

2 温泉入浴指導員

(一財)日本健康開発財団が実施する講習の受講により、温泉を利用した健康増進プログラムの指導や安全管理などを行うノウハウを習得した者。

3 ワーケーター

ワーケーションに取り組む人をいう。

3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

梅ヶ島温泉郷は、一級河川安倍川の最上流域に位置し、周囲を八紘嶺(はっこうれい)、大谷嶺(おおやれい)、山伏(やんぶし)、安倍峠、十枚山などの2,000m級の山々に囲まれ、緑豊かな優れた自然環境が保全されている山深い温泉郷である。

最奥の梅ヶ島温泉は、古くから湯治場として栄え、「信玄公の隠し湯」であったといわれているほか、第二次世界大戦時には、帝国陸軍病院の分院として接收され、傷病兵の湯治に使われた。また、徳川家康、徳川秀忠、勝海舟、清水次郎長、山岡鉄舟、乃木希典も訪れたとの記録も残っている。昭和の世には、歌人の吉井勇が長期逗留し「梅ヶ島遊草」を詠み、脚本家の茂木草介がNHK大河ドラマ「太閤記」を書き上げるなど、文人達にも好まれる静寂の湯治温泉地となった。

また、文化的な資源としては、国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として文化庁より選択されている「静岡県中部地方の神楽」の一つ「梅ヶ島新田神楽」が挙げられ、自然の恵みへの感謝や無病息災を祈念した舞は、姿を変えず今日まで伝え続けられている。



【梅ヶ島温泉の湯治客の様子】



【梅ヶ島新田神楽(高嶺の舞)】

(2) 取組の現状

梅ヶ島温泉郷を囲む2,000m級の山々が連なる稜線は、静岡県立自然公園条例に基づき、昭和43年4月に「奥大井県立自然公園」に指定され、緑豊かな自然環境が保全されている。梅ヶ島温泉郷では、昭和44年に旧安倍郡梅ヶ島村が静岡市へ編入合併されて以降、日帰り温泉施設や、テニスコート、キャンプ場、釣り堀施設など、様々な整備を行ってきたが、いずれも自然環境や景観に配慮しつつ、心身ともにリフレッシュできる環境としての魅力をより高めるものとして整備を進めてきたものである。

平成18年3月には、安倍川等の清流を次世代へと継承するため、静岡市清流条例を制定し、梅ヶ島温泉郷を含む安倍川上流域を「水源保全区域」に定めた。条例の規定に基づき、現在では、市民、事業者、市の三者の協働による清流保全に努めている。

また、地域に残る郷土芸能「梅ヶ島新田神楽」は、「梅ヶ島の舞」の名称で市の無形民俗文化財に指定されている。通常は3月上旬に地域内で行われる「初午祭」で奉納されるものであるが、平成28年より開催されている市主催のイベント「大神楽祭」で舞を披露するなど、保存会と市が連携し、文化の承継と認知度向上にも努めている。

(3) 今後の取組方針

梅ヶ島温泉郷周辺の自然環境、まちなみ、歴史、風土及び文化の維持保全を図るため、(2)に記載の自然環境の保全、文化の継承を継続する。

また、温泉旅館、観光事業者、農林漁業者、自治会等で組織される「梅ヶ島温泉郷の未来を考える会」を中心とした、オール梅ヶ島での事業推進体制の整備により、地域内の連携を強化するとともに、地域資源を再認識することで、地域住民のシビックプライド醸成及び地域資源の保全に努めていく。

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方法等

(1) 医師または人材の配置の状況

梅ヶ島温泉郷では、医学的立場から健康管理についての指導や、入浴客の体調不良に対応する医師を配置しており、その氏名及び活動の状況等は以下のとおりである。

なお、現時点では、入浴方法などの指導を行う人材については配置していないが、今後、育成及び配置に取り組んでいく方針である。

医師

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
梅ヶ島診療所 瀧浪 慎介	内科、リウマチ科、 アレルギー科	静岡市梅ヶ島診療所において、 入浴客の体調不良等に対応。	H28

診療所には、3日/週(月曜日、火曜日、金曜日)で滞在している。

(2) 配置計画又は育成方針等

梅ヶ島温泉郷では、上記医師の配置を継続しつつ、適正な温泉利用や健康管理について指導可能な医師との連携体制を構築する。また、梅ヶ島温泉郷全体で温泉入浴指導員の配置を推進し、各施設において健康増進及び疫病予防対策など、入浴方法等の指導を行う人材を育成していく。



【地域に常駐する医師の拠点 梅ヶ島診療所】

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

梅ヶ島温泉郷における温泉資源の状況は、以下のとおりである。

梅ヶ島温泉

泉質は単純硫黄温泉で、12の源泉を集約して旅館、民泊施設、公衆浴場に利用されている。

源泉	温度 ()	湧出量 (L/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
梅ヶ島1号 金の湯	36.6 (R4.1.20)	153.4 (R4.1.20)	単純硫黄 温泉	掘削自噴	静岡市	旅館 6施設 民泊施設 1施設 公衆浴場 2施設
梅ヶ島2号 黄金の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島3号 長寿の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島4号 虹の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島5号 梅の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島6号 椿の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島7号 百合の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島8号 つつじの湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島9号 銀の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島10号 珠の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島11号 紅葉の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島12号 山吹の湯				自然湧出	静岡市	

梅ヶ島新田温泉

泉質はナトリウム - 炭酸水素塩温泉で、旅館、公衆浴場に利用されている。

源泉	温度 ()	湧出量 (L/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
梅ヶ島 新田2号	31.0 (R4.1.20)	180.5 (R4.1.20)	ナトリウム - 炭酸水素 塩温泉	動力揚湯	静岡市	旅館 2施設 公衆浴場 1施設

梅ヶ島コンヤ温泉

泉質は単純硫黄泉で、旅館に利用されている。

源泉	温度 ()	湧出量 (L/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
梅ヶ島 コンヤ2号	27.7 (R4.1.20)	181.3 (R4.1.20)	単純硫黄泉	動力揚湯	静岡市	旅館 4施設 ()

うち1施設は休業中

(2) 取組の現状

梅ヶ島温泉郷における各源泉について、現在講じているその保護に関する取組の状況は、以下のとおりである。

源泉	取組	頻度	実施主体
梅ヶ島温泉郷全域	源泉の調査 温度・揚湯（湧出）量・動力 装置の状況	1回/年	源泉所有者 （静岡市）

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷において、温泉資源の保護を一層推進するため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

源泉	取組	実施主体
梅ヶ島温泉郷全域	梅ヶ島温泉は自然湧出、梅ヶ島新田温泉及び コンヤ温泉は動力揚湯であるため、湧出方法 は異なるが、いずれの源泉においても温泉の 湧出状況の把握に努めていく。	源泉所有者 （静岡市）

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

梅ヶ島温泉郷における温泉利用の状況と、温泉利用に当たり使用している設備は、以下のとおりである。なお、梅ヶ島温泉郷では、温泉は浴用利用のみとなっている。

温泉地	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
梅ヶ島温泉	12	引湯管、貯湯槽、紫外線殺菌装置、	9施設
梅ヶ島新田温泉	1	引湯管、貯湯槽	3施設
コンヤ温泉	1	引湯管、貯湯槽	4施設

(2) 取組の現状

温泉の利用に当たって使用している設備について、現在講じている衛生面での取組の状況は、下記の表のとおりである。なお、静岡市では、浴槽水のモノクロラミン消毒を梅ヶ島新田温泉の実証実験の結果を基に、全国で初めて条例で認め、現在も梅ヶ島新田温泉「黄金の湯」においては、モノクロラミンによる浴槽水の消毒を行っている。

設備	区分	取組	頻度	実施主体
源泉	温泉法	源泉の温泉分析調査	1回/10年	源泉所有者 (静岡市)
	自主的	源泉タンクの清掃・消毒・殺菌	1回/年	源泉所有者 (静岡市)
	自主的	水質検査(6項目)	1回/年	源泉所有者 (静岡市)
引湯管	自主的	引湯管の点検・清掃・消毒	必要に応じて	源泉所有者 (静岡市)
貯湯槽	・静岡市旅館業法等施行条例 ・静岡市公衆浴場法施行条例	貯湯槽及び分湯槽の清掃及び消毒	1回以上/年	宿泊施設事業者及び公衆浴場事業者
浴槽	・静岡市旅館業法等施行条例 ・静岡市公衆浴場法施行条例	循環式浴槽		宿泊施設事業者及び公衆浴場事業者
		原湯原水の水質検査(6項目)	1回/年	
		浴槽水の消毒	1回/日	
		浴槽水の水質検査(4項目)	2回以上/年	
		レジオネラ属菌の水質検査()	1回以上/2月	
		浴槽の完全換水・清掃	1回以上/週	
		ろ過器の逆洗浄等による清掃及び消毒	1回以上/週	
		気泡発生装置の洗浄及び消毒()	1回以上/日	
		集毛器の清掃・消毒	1回以上/日	
		非循環式浴槽		
		原湯原水の水質検査(6項目)	1回以上/年	
		浴槽水の水質検査(4項目)	1回以上/年	
		浴槽の完全換水・清掃	1回/日	
		配管等設備	・静岡市旅館業法等施行条例 ・静岡市公衆浴場法施行条例	
生物膜の状況の監視(必要に応じて消毒)	1回以上/年			

設備 周辺	自主的	清掃	1回/日	宿泊施設事業者及び公衆浴場事業者
----------	-----	----	------	------------------

() 気泡発生装置等を使用する場合に限る。

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷において、さらに温泉を衛生的に良好に保つため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、これらに加え、温泉関係者を対象とした温泉の衛生管理に関する講習会等の受講を推進し、さらなる衛生管理の意識向上を図る取組を進める。

7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 温泉の公共的利用の状況

近年の梅ヶ島温泉郷における温泉利用の状況は、以下のとおり。

直近3年間の温泉の利用者数

(単位：人)

温泉地	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
梅ヶ島温泉	宿泊	9,024	7,614	7,861
	日帰り	8,034	5,243	5,073
梅ヶ島新田温泉	宿泊	482	420	391
	日帰り	40,634	32,465	33,818
コンヤ温泉	宿泊	3,021	2,290	1,967
	日帰り	2,882	403	495
小計	宿泊	12,527	10,324	10,219
	日帰り	51,550	38,111	39,386
合計		64,077	48,435	49,605

地域資源を活用したイベントの開催や、新聞やテレビ、ラジオといった各種メディアを活用した積極的な情報発信に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度以降宿泊客・日帰り客ともに大きく減少した。

直近1年間（令和3年度）の温泉の利用者数

（単位：人）

温泉地	区分	施設数	総定員	利用者数				
				4月	5月	6月	7月	8月
梅ヶ島温泉	宿泊	7	164	640	629	334	605	840
	日帰り	7	-	424	519	286	366	249
梅ヶ島新田温泉	宿泊	1	16	20	29	15	25	52
	日帰り	2	-	2,734	4,223	2,073	2,753	2,024
コンヤ温泉	宿泊	3	63	137	807	469	792	1,129
	日帰り	3	-	38	8	40	17	16
小計	宿泊	11	243	797	807	469	792	1,129
	日帰り	12	-	2,868	4,356	2,187	2,855	2,132
合計			243	3,665	5,163	2,656	3,647	3,261

利用者数							
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
432	657	1,310	837	609	322	646	7,861
398	464	779	434	436	352	366	5,073
19	22	67	34	41	29	38	391
0	3,817	6,871	2,199	2,438	2,007	2,679	33,817
565	868	1,681	1,077	789	450	795	1,967
2	54	94	80	42	61	43	495
565	868	1,681	1,077	789	450	795	10,219
53	3,975	7,177	2,408	2,558	2,171	2,813	39,386
618	4,843	8,858	3,485	3,347	2,621	3,608	49,605

(2) 取組の現状

施設整備

梅ヶ島温泉郷において、温泉の公共的利用の増進を図るため、現在までに整備した施設は以下のとおりである。

温泉地	整備物	実施主体
梅ヶ島温泉	ア 公衆トイレ イ おゆのふるさと公園	静岡市
梅ヶ島新田温泉	ア 公衆トイレ イ 梅ヶ島新田温泉「黄金の湯」 公衆浴場 ウ 日影沢親水園「魚魚(とと)の里」 (釣り池、芝生広場、飲食施設 ほか)	静岡市
	ア お食事処「黄金の里」 黄金の湯に併設 イ キャンプ場 ウ バーベキュー施設 ア～ウはともに黄金の湯に併設	民間事業者
梅ヶ島コンヤ温泉	ア 公衆トイレ イ コンヤの里レクリエーション施設 (テニスコート、桜園、梅園 ほか) ウ 市営梅ヶ島キャンプ場	静岡市



【梅ヶ島新田温泉 黄金の湯(市営)】



【日影沢親水園 魚魚の里(市営)】



【コンヤの里レクリエーション施設】

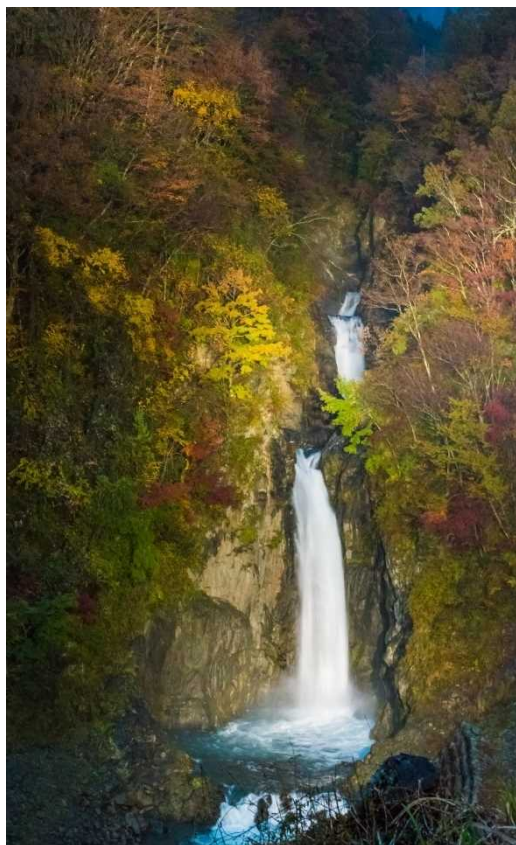


【バーベキュー施設 Wild Kitchen】

イベント等

梅ヶ島温泉郷の利用促進のため、現在行っているイベント等の状況は、以下のとおりである。近年では、宿泊者増加を目的に夜間のイベントの充実を図っている。

実施日	名称	場所	備考
3月初旬	初午祭	新田公会堂	市指定無形民俗文化財
3月 第3日曜日	梅まつり	コンヤの里レクリエーション施設内 梅園	
4月上旬	コンヤの里 桜園ライトアップ	コンヤの里レクリエーション施設内 桜園	R1～
4月 第2日曜日	春まつり	コンヤの里レクリエーション施設内 桜園	
4月下旬	梅ヶ島温泉郷まつり	梅ヶ島新田温泉 黄金の湯	
8月上旬	湯滝ライトアップ・ 線香花火長持ち大会	おゆのふるさと公園	R1～
11月中旬	赤水の滝 ライトアップ	赤水の滝展望台周辺	H28～



【赤水の滝ライトアップ】



【コンヤの里さくら園ライトアップ】



【線香花火長持ち大会】

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷における温泉の公共的利用の増進を図るため、温泉の適正な利用を進めるとともに、自然環境の保全、環境配慮に努めながら(2)の取組を継続していく。また、滞在時の魅力及び満足度の更なる向上を図り、各実施主体と調整のうえ、以下の取組を進める。

温泉地	取 組	実施主体
梅ヶ島温泉郷 全域	温泉入浴指導員の資格取得を推進し、温泉入浴をテーマとする健康増進プログラムを実施する。	・梅ヶ島温泉郷の未来を考える会
	地域食材を活用し、「健康」をテーマとした食事メニューの提供を推進する。	・梅ヶ島温泉郷の未来を考える会
	食、景観、自然などの地域資源を活用し、温泉地を総合的に楽しめるイベントの実施や、体験プログラムの造成に取り組む。	・梅ヶ島温泉郷の未来を考える会 ・静岡市
	葵区内の他自治会との連携により、美しい景観づくりに取り組む(梅の木剪定など)。	・梅ヶ島学区自治会連合会
	一定期間の滞在が見込まれる層(ワーカー、湯治客等)を対象とした宿泊プラン及びモデルコースを造成するとともに、それを紹介するガイドマップを作成する。	・梅ヶ島温泉郷の未来を考える会 ・静岡市
	地域内のレクリエーション施設の有効活用等を活動テーマとする地域おこし協力隊を導入する。	・静岡市
	梅ヶ島新田温泉「黄金の湯」のリニューアル工事を行う。	・静岡市
	光回線の開通に伴い、地域内各施設へのWi-Fi環境の整備を進める。	・梅ヶ島温泉郷の未来を考える会
	温泉地内の道路及びアクセス道路に関する計画的な維持管理や、狭隘区間の道路拡幅や防災対策を進めるとともに、道路情報板やICTを活用した積極的な道路交通情報の発信に取り組む。	・静岡市
	地域内の観光情報及びイベント情報を国内外に積極的に発信する。	・梅ヶ島温泉郷の未来を考える会 ・静岡市 ・(公財) するが企画観光局

8 . 高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) 公共の用に供する施設の状況

梅ヶ島温泉郷における公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施 設
梅ヶ島温泉	公有施設	ア 道路 イ 駐車場 ウ 公衆トイレ エ おゆのふるさと公園
	民有施設	ア 宿泊施設 (6 施設) イ 民泊施設 (1 施設) ウ 公衆浴場 (2 施設)
梅ヶ島新田温泉	公有施設	ア 道路 イ 車場 ウ 公衆トイレ エ 梅ヶ島新田温泉「黄金の湯」 公衆浴場 オ 日影沢親水園「魚魚(とと)の里」 (釣池、芝生広場、飲食施設 ほか)
	民有施設	ア 宿泊施設 (2 施設) イ お食事処「黄金の里」 黄金の湯に併設 ウ キャンプ場 エ バーベキュー施設 イ～エはともに黄金の湯に併設
コンヤ温泉	公有施設	ア 道路 イ 駐車場 ウ 公衆トイレ エ コンヤの里レクリエーション施設 (テニスコート、桜園、梅園 ほか) オ 市営梅ヶ島キャンプ場
	民有施設	ア 宿泊施設 (4 施設)

(2) 取組の現状

梅ヶ島温泉郷において、高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりのために講じている取組の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
梅ヶ島温泉郷 全域	公共施設	道路	温泉地内の道路及び温泉地までのアクセス道路の適切な維持管理を行っている。	静岡市
	民有施設	建築物	各施設において、施設改修時にスロープ、手すりなどの整備を進めている。	民間事業者

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷において、さらに高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
梅ヶ島温泉郷 全域	公共施設	道路	道路整備の際は、高齢者、障がい者等に配慮した構造とするよう検討する。	静岡市
	民有施設	建築物	各施設において、スロープ、手すり、多目的トイレなど更なるバリアフリー化を検討する。 また、外国人への対応を考慮し、案内表示の多言語化を検討する。	民間事業者



【黄金の湯併設の公衆トイレ】

入口までは段差がなくバリアフリー化されており、点字ブロックによる誘導があるほか、多目的トイレも設置されている。

3棟のうち中央が多目的トイレ。

9. 災害防止対策に係る計画及び措置

(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

梅ヶ島温泉郷では、これまでたびたび土砂災害が発生してきた。中でも昭和41年9月の台風第26号の被害は大きく、梅ヶ島温泉周辺の土石流で旅館など9戸が全壊する被害があった。この災害から50年の節目を迎えた平成28年には、災害の実態や教訓の継承を目的とした記念碑が地域内に設置されている。また、官民の連携により、土砂災害に備えた地域づくりを進める取組も始まり、近年では治山及び砂防工事も進んだことから、大規模な災害はほとんど見られなくなった。



【台風被害前の梅ヶ島温泉の様子】



【災害の実態・教訓を伝承する記念碑】

(2) 計画及び措置の現状

梅ヶ島温泉郷において、現在、災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は以下のとおりである。

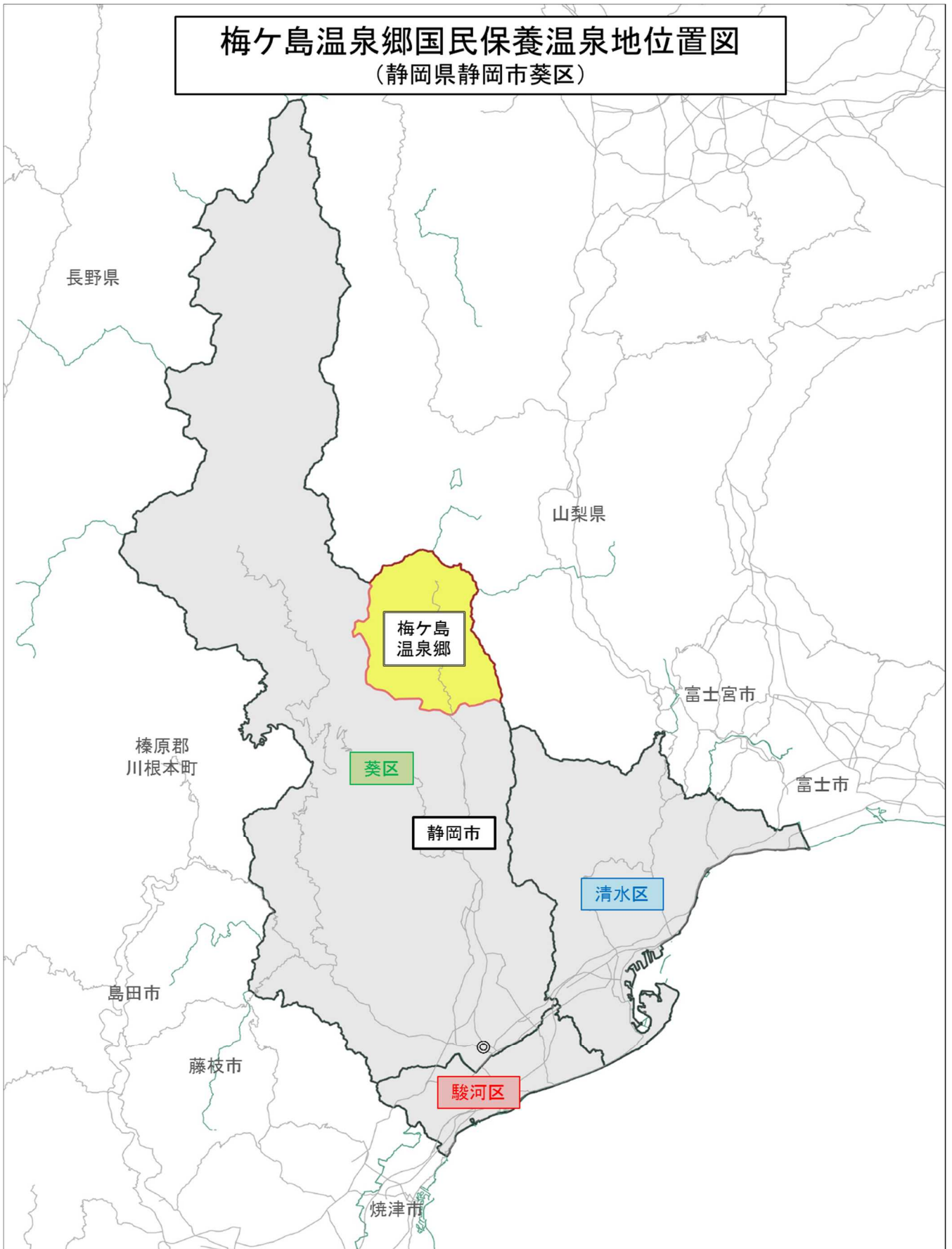
温泉地	計画又は措置	計画又は措置の概要
梅ヶ島温泉郷 全域	土砂災害警戒区域79箇所の指定（静岡県）	「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、急傾斜地の崩壊57箇所、土石流22箇所を指定。
	急傾斜地崩壊危険区域の指定（静岡県）	「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき、梅ヶ島関ノ沢（2箇所）を指定。
	砂防指定地の指定（国）	「砂防法」に基づき、域内7箇所を指定。
	地域防災計画（静岡市）	警戒避難体制に関する事項を策定。静岡市では、指定避難所2箇所（梅ヶ島小中学校、梅ヶ島生涯学習交流館）のほか、緊急避難場所やヘリポートなどを指定している。また、「静岡市防災マップ」には、県が指定した土砂災害警戒区域の情報を盛り込んでいる。
	自主防災組織の強化	地域全体にそれぞれの自治会等を主体とした自主防災組織により訓練等を行っている。

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷において、さらに災害の防止を図るため、実施主体と調整の上、(2) の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

温泉地	取 組	実施主体
梅ヶ島温泉郷全域	各施設における災害時の避難誘導計画を策定する。	各事業者
	旅館等観光施設の安全を確保するため、施設の耐震化に向けた取組を検討する。	各事業者

梅ヶ島温泉郷国民保養温泉地位置図
(静岡県静岡市葵区)



梅ヶ島温泉郷区域図

